

	1	2	3	4	5	6
HO^2 in gallon	45	45	45	45	45	45
Alum in lb.	100	100	200	90	190	129
Pb OA in lb.	100	120	200	190	129	100
NaOCO^2 10 HO in lb.	13	10	10	19		

此方ハ粉末セル可ク水ニ溶シH氏百四度ニ温メ次ニ結晶曹達ヲ絶テ攪過シテ溶解シ又次ニ蘇末トナシタル酢酸鉛ヲ加ヘ數時間攪過シ其後テニ三日目ニ又々攪過シ溶シコトクレン氏曰ク炭酸曹達ヲ酢酸鉛ノ後ヨリ加フレバ弱クシテ不可也此方ハ通事ノ金巾ニ用ル法ナリ

オニ者ハオノ者ヨリ板木押シ及ビコトコロルノ為メニヨシ 按スルニコトコロルハコトコロル加ヘ濃クシタル合劑

オニ者ハオノ者ヨリ板木押シ及ビコトコロルノ為メニヨシ 按スルニコトコロルハコトコロル加ヘ濃クシタル合劑

ヒテ可ナリオ五オ六ノ者ハ「カレン」漆ノ用キ可シ又ハ「レジストレット」ニ用ヒテ可ナリ 「レジストレット」ニ用ル為メニハ「レジストレット」ニ交

セテ用フ

○ 酢酸カルキヲ以テ「レジストレット」トシテ製スル法

	7	8
CaOA (42°) in gallon	50	90
Alum in lb.	200	—
$\text{Al}^2\text{O}^3 \text{SO}^3$	—	272
その他	12	3/4

此酢酸カルキハ常ニ酢酸鉛ヨリ多ク用テ價安キ故ニ此オ七オ八者ヲ作ルニ先ツ酢酸カルキヲ水ニ溶シ首甲度ニ温メ其後チ「レジストレット」ニ加ヘ攪

此合劑ニ見テ「炭酸」ハ「クロウ」トシテ「レジストレット」ニ



洋学文庫
文庫8
J168

5 10 15 20 25 30 35

過シ悉ク溶解スルヲ見テ少シマ^リ者^ハシラ加ハ悉ク加ハ盡ス^ル後々之レヲ
 火ヨリ下シ其ノ冷ルマデ不絶攪^和過ス此^ノ初メ温ムル^ハ百單度ヲ越ル
 可カラズ冷ニ至ルマデ放置シ其ノ上清ヲ取り^テ精ヲ洗ヒ其洗液ニ度ニ
 至ルマデ用 按スルニ總テノ液ニ度ニ至ル^ハ用ル^ル或^ハ十度ノ誤リ也 亦七ノ者ニ
 十度^ニ者^ハ黄根^或ハカランシニ用フ之レニ依テ最モ黒キ赤色ヲ與
 フ「カランシ」ハ仏名^カシラ^シヲ稀硫酸ヲ以テ温^メ製^シタル者^也稀硫酸ハ最
 モ稀キ者ヲ用フ亦ハ者^ハ「^赤度[」]レ^ニスト^レド[」]ニ用フ又鉄液ト和ス
 ルニ用フ 按スルニ鉄液ヲカランシニ用ヒ^テ者^ハ「^赤度[」]ト^レヨ^リ得ル 亦七亦ハ
 者ハ通常ノ「^赤度[」]ニ用ヒテ十分ノモノシ

ロマ^シノ^ニ桃^色ノ^為ノ^ニ用ル^ルロ^ドロ^コル^ル則チ「^下モ^ル」ト^レ也

用フル法ハ亦九ヨリ亦十三ニ至ル

		9	10	11	12	13	
HO	yellow	4 1/2	1	20	3	60	
Alum	H.	10	3 1/2	75	13	125	
PbA			2 1/2		10 1/2	100	
CaOA	dry			30			
NaCl		60		5			
ZnO	NO ^s				1		
							其ノ用ルニ臨 ^ニ 合 ^ニ 前 ^ノ 一分ニ三分ノ水 ヲ以テ稀メ用フ
							亦七ハ善ク出来タル者ニシテ食塩濃 ヲ引クヲ以テ色ノ年ヲ善クスル為メ ニ可ナリ

亦七^者ハ硝酸亜鉛ヲ含ム故ニ亦七^者ヨリ水ニ強キ引カ^リ常ニ
 濃クシタル後ニテ加フル^{ナリ}而^テ煮ル時ニ當テ糊等ヲ淡ク走ラ

ルヲ考見セリ○又香^ルノ末及ビ結晶膏達ヲ用フルハ其
游離ノ酸ニ中和セルムル為ナリ之レハ其^液ノ力ヲ強
カラシムル為ナリ

我ハ結晶膏達ヲ用^ルシテ「香^ル」ノ末ヲ善シトス此用フル
量ハ^ハハ^ハハ^ハ一々毎ニ^ニヲ用フルナリ此香^ルハ^ハ酢酸ト和シテ不
溶性^ノ結晶^品ヲ生スル故ナリ如斯^{スレ}ハ外見ハ^ハリ^コイル^ノ力ヲ弱
クスル如ク見エドモ決シテ然ラ^ズナリ若シ膏達ヲ用レバ可溶
性^ノ塩ヲ生シ其外見ハ^ハリ^コイル^ノ力ヲ益ス如クナレ^レ却テ^ハコ
イルニ雜物ヲ混シテ不可ナリ我ハ又^ハト^アス^及ヒ^アン^モニア^ア
リ^ムニ注意シテ制^スルニ非サ^レハ善キ^リコイルヲ制^スル
能ハズ如何トシ^レバ此塩ハ常ニ酸性ナルヲ以テ^リ湯色^鉛糖
ハ白色者^ノ如ク^キ出^来バイ^ヲ與フル^テ酢酸^カキ^モ亦其^ノ
分量^サハ善ク^知リ得^ルナ^ラバ同^様ナ^リ

○レットリコイル^ノ性質

酢酸^ノア^ルミ^ナハ^ハ通常^ノ湯色^ノ者^ニシテ^ハワ^ドタル^此
ノ臭氣アリ而シテアリ^ク味^ヲ具ス^ルH氏^ノ百^十度^ノ温^ニ
達^スハ殆^ド固^形トナ^リ冷^ハ又^ハ流^動ス^故ニ^ハ紅^色ノ^載ハ^温
ハ^濃ク^ナリ^冷バ^又固^ニ覆^ス○酢酸^アル^ミハ^ハ利^ス
截^ノ上^ニ形^ヲ置^キタル^時ハ殊^ニ甚^シ若シ^レレットリコイル^ヲ殆^ト乾^ク
ニ^先進^程者^ニ時^ハ酢酸^ノ多^ク分^ヲ飛^散シ^テ不^可溶^性ノ

質ニ變スルナリ又時トレテハ此レフトリコイルヲ久シク貯ルバ分和シ
テ用ヒ難キニ至ル○レドリックニ善悪ハ試驗上ニ於テノミ分明
ニシテ化學ニ於テハ只酢酸及ヒ他ノ者ノ量ヲ正シク知ルニシテ
下添ニ用テノ善悪ハ決シテ知レヌモノナリ

○レドリックノ用法

レドリックハハカランシニ及ヒ紅色白ルダントニ用フ○アイロニコイル
ト交セテ用ル時ハコカラト上色ノモルダントナルコラクウドノ添
物ニ於テ鉄液ト交セ用ル時ハ黑色トナルレドリックニハ蒸
氣色ニ於テ稀ニ用ルナリシルク又ハ本綿物ヲ添ムルニ
カ用フ